

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

（市町村名：木津川市）

タイトル 【配食サービス事業】住み慣れた地域で安心して生活できる支援体制の充実

現状と課題

食事の調理や買い物が困難で栄養不足となるおそれがある在宅の高齢者等に対して、配食サービス事業として、安否確認を兼ねて週に一度、お弁当を夕食時に届けています。

お弁当の調理・配達はボランティアにより行われていますが、ボランティアの高齢化もあり、担い手不足や新たな担い手の確保が課題となっています。

第8期における具体的な取組

在宅の高齢者世帯等に定期的に食事を提供し、高齢者の健康増進を図るとともに安否確認を行うなど、自立した生活の支援と見守りを行います。

目標（事業内容、指標等）

ボランティア数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
お弁当調理	110人	111人	99人	113人
お弁当配達	155人	160人	150人	158人

目標の評価方法

● 時点

中間見直しあり

実績評価のみ

● 評価の方法

- ・お弁当調理、配達を担っていただくボランティア数をカウントしていく。

評価区分	◎	数値目標に掲げている指標の実績が、調理・配達の合計人数が前年度+10名以上
	○	数値目標に掲げている指標の実績が、調理・配達の合計人数が前年度-5名から+9名
	△	数値目標に掲げている指標の実績が、調理・配達の合計人数が前年度-6名以上

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：木津川市）

年度	令和4年度
----	-------

実施内容	
	<ul style="list-style-type: none">・調理、配達ボランティア数の確認（年1回）。・市社協広報誌へのボランティア募集記事掲載。・公共施設へのボランティア募集チラシの配架。・ボランティアに興味をお持ちの方に新たに参加していただける、ボランティア体験会等の取り組みを行う。・ボランティアの増員について地域支え合い会議を通じて、比較的若い現役引退者へのアプローチや、男性の方への調理ボランティアへの参加等の取組など検討した。
自己評価結果	
	<p>【◎】</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナが少し落ち着き、ボランティア人数がコロナ禍以前と同人数程度にまで戻った。マスク、消毒等の徹底など感染対策に努めながら継続実施しているが、年々配食数が増加傾向にあり、ボランティアの人数としては、余裕がない状況にある。・数名ではあるが、新たなボランティアの参加があった。・高齢となり、ボランティアを辞められる方がおられた。・配達ボランティアから調理ボランティアの支援にまわる男性の方もみられた。
課題と対応策	
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・現ボランティアに継続していただけるようにすること、また新規ボランティア（特に調理ボランティア）を増加させる必要がある。特に70歳までの元気な高齢者にも参加いただくことが必要である。 <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none">・市広報誌等へのボランティア募集記事掲載、公共施設へボランティア募集チラシ配架等、広くボランティア募集を行う。・ボランティアに興味をお持ちの方に新たに参加していただけるボランティア体験会等の取り組みを行う。・男性の調理ボランティアへの参加促進の取組（料理教室）などを実施し幅広くボランティアを募集できるような取り組みを行っていく。